

えもあぷ!

2005年11月
No. 10

おもな記事 エコ・フットパス研究会
活動報告2P／エコフットパス参加
者の声3P／第2回森のまつり・ピク
ニックコンサートが開催されました4P

丸加高原「自然観察の森」ハンディ図鑑が完成!

たきかわ環境フォーラムが昨年度から取り組んできた「自然調べ隊」の活動が、
1冊の図鑑になって実を結びました。

たきかわ環境フォーラムが昨年度から取り組んできた「自然調べ隊」の活動が、1冊の図鑑になって実を結びました。11月23日に発行されたのは、その名も『丸加高原「自然観察の森」ハンディ図鑑—高原の風を見に—』。「自然調べ隊」が四季を通じて観察してきた丸加高原の草花や野鳥たちの愛らしい姿が、分かりやすい解説文とともに集められています。監修はさっぽろ自然調査館(札幌市厚別区)の丹羽真一さん。

図鑑は、B6判(変形)、64ページ建てと、シャツの胸ポケットにも収まるコンパクトながら、全編カラー編集。草花59種、野鳥41種、樹木21種が収録されています。全種の決定的瞬間をとらえた写真の数々は、地元・江部乙町在住の中島和治さん、大崎順助さんらの作品。また解説文もたきかわ環境フォーラム各員が分担して執筆しました。花の開花時期や、野鳥の飛来時期など、生き物たちの丸加高原における生態にあくまでこだわった内

容で、文字通り地元にも根ざした作品になりました。

計2000部発行され、売価は500円。12月1日からTSUTAYA滝川店、丸加高原伝習館、道の駅たきかわ、滝川市役所売店で販売しています。

(『丸加高原「自然観察の森」ハンディ図鑑—高原の風を見に—』は、財団法人秋山記念生命科学振興財団の2004年度助成と、日本野鳥の会滝川支部の助成を受けて制作されました。)



完成した丸加高原「自然観察の森」ハンディ図鑑

2005年度

エコ・フットパス研究会活動について

エコ・フットパス研究会 世話人 高橋一美

報告

今年度の活動

たきかわ環境フォーラムのフットパス活動は今年度いよいよ現地での実施段階に入りました。今回選ばれたフィールドは江部乙町東11丁目から東14丁目の丘陵地区です。

今年度のコース

さて、このコースには地域の資源がいっぱい詰まっています。なぜなら、この地域を知り尽くしているフォーラム会員の中島さんが地域の魅力を紹介するために考えたコースであり、自らがコースの案内を務めているからです。それではかいつまんでコースを紹介してみましょう。

まず、江部乙町12丁目の「道の駅たきかわ」に集合します。出発してすぐに江部乙神社へと向かい、歴史を感じさせる境内を通って、次に一般道とは別の灌漑溝が埋まっている管理用通路を通りながら、西14丁目の「野鳥館」へと向かいます。この「野鳥館」は空知の野鳥を写真や模型などで紹介する日本野鳥の会滝川支部の大崎順助さんの個人コレクションを収蔵する私設博物館です。さらにここから東13丁目に戻り「江部乙公園」へと向かいます。ここではトイレ休憩をとり、次に道路を挟んで南側にある「交流の森」を迂回して行きますが、ここはアオサギの営巣地となつて

今年度はこのコースを事前調査も含めて3回歩きました。1度目は4月24日にフォーラム会員で現地調査を行い、2度目は5月28日に「菜の花とりんごの花の咲く丘探訪」と題して、一般参加14名を得

て実施しました。3度目は9月24日に「江部乙初秋 爽りの丘探訪」と題して、秋バージョンとして一般参加8名を得て実施しました。



います。

さて、ここから30分ほど東へ歩くと「鍬塚」があります。ここは「芽生村塾」という開拓農家の横山春一さんが開設した農村学校があった場所で、当時(1931~40)理想の農村づくりに燃える若者が集った場所なのです。さて、ここからは雄大な景色を見ながら丘陵地を南に向かって進んでいきます。そして東11丁目との交差点に出ますが、ここは天気がよければ360度の雄大なパノラマが広がります。東11丁目を西へ向かい「一木万寿三画伯」の実家前を通り、陶芸家の大野耕太郎氏のギャラリー「陶居」に向かいます。すばらしい陶芸作品

に触れた後は、隣の大川農園で有機農法の野菜、果物に出会えます。最後に、江部乙改善センター裏に移築された屯田兵屋を見ながら出発地点の「道の駅たきかわ」に戻ります。

上記に紹介したポイント以外にも自然環境(鳥や花)やすばらしい景観を眺めながら散策することができ、単なるウォーキングではなくフットパスの要素が随所に散りばめられたすばらしいコースとなっています。



鍬塚の前で由来を聞く参加者

今後の活動予定

今年度は春と秋という2つの季節に散策会を開催しましたが、フォーラムではこのルートでのマップ作りを計画しています。このマップは「道の駅」等に常備して、このコースで独自にフットパスの散策をする人のガイドブックとする予定です。

さらに来年度以降は、江部乙地区を中心に新しいルートの設定にも着手できればと考えています。

歩きながら地域資源を掘り起こす「フットパス」にみなさんも参加してみませんか。

(写真と文・高橋一美)



野鳥館

秋の散策会訪問先

江部乙野鳥館(大崎氏ギャラリー) → 鍬塚碑(芽生村塾跡) → 一木万寿三画伯生家 → 大野耕太郎氏ギャラリー → 大川農園

自然・景観等

りんご、野鳥、野の花
イルムケップ、暑寒、樺戸、十勝連峰

エコ・フットパスとは、フットパスは健康目的のウォーキングや公園内の自然遊歩道とは異なり、地域の文化・歴史・自然・産業(農林業)などとの「ふれあい」を楽しみながら「人が歩く道」のことで、イギリスでは長い歴史の中で作り上げられたフットパス網が国内に張り巡らされ、多くの人々が利用しています。

参加者の声 (アンケート集計結果から/参加者15名 回答者12名) まとめ/高橋一美

豆知識

たきかわ環境フォーラムはこの「歩く道」をエコ・フットパスと名付け、江部乙町東の丘陵地で、歩かなければ気づくことがない、江部乙町の景観、歴史や文化、さらには人々の生活や農業生産活動の一端に触れることができる、滝川独自のフットパスの設定とその普及を考えています。

Q1. 参加したのは初めてですか

はじめて	2回目
2	10

Q2. 歩いた距離は

長い	短い	ちょうど良い
0	0	8

Q3. 歩く速さは

速い	遅い	ちょうど良い
0	1	7

Q4. 良かった場所は
(複数回答)

鍬塚(芽生村塾跡)	6	江部乙公園	3
交流の森(アオサギ営巣地)	3	一木万寿三画伯実家	1
大野耕太郎氏ギャラリー	2	Aさんの農園	6
野鳥館	5	屯田兵屋	1
Bさんのりんご園	2		

Q5. 次回も参加したいですか

参加したい	参加したくない	コースによっては参加したい
7	0	1

エコ・フットパス・マップについて

今回の散策会では初めて、コース地図に解説文などを加えた「エコ・フットパス・マップ(パイロット版)」を参加者のみなさんに配布しました。

Q1. 大きさは

小さい	大きい	ちょうど良い
2	1	9

Q2. 地図は

分かりにくい(1人では歩けない)	分かりやすい(1人で歩ける)
1	9

【ご意見】 ・小冊子風にしては?
・イラストマップがあったほうが良い

Q3. 解説は

不十分	十分	写真と場所が分かりにくい	写真と場所が良く分かる
2	1	0	4

Q4. マップはどこで配布したら
いいですか

道の駅	市役所	江部乙支所	図書館	学校
12	7	2	6	2
JR駅	コンビニ	スーパー	食堂	喫茶店
6	2	0	0	0

ご意見があれば

- ・散策会があることを書いたほうがよい。
- ・他のコースを加える。
- ・バリエーションも考える
- ・季節の鳥や植物があると良い。
- ・目印になるものを表示してあるといい。
- ・現地に矢印や案内板が欲しい。



Q5. マップを1人で使う場合に
現地(コース)に必要なものは

案内板	トイレ	休憩所
2	1	0
喫茶・食事の出る場所	公園 (江部乙公園以外に)	そのほか
3	1	案内板が無くても何か目印があると良い

第2回 森のまつり・ピクニックコンサートが開催されました



8月7日(日)北海道では七夕のこの日、森のかがく活動センター敷地内にて、「森のまつり・ピクニックコンサート」が同実行委員会により開催されました。

■森のまつり

当日は10時より小松博実行委員長による開始の言葉を皮切に、まつりがスタート。模擬店ではヨーヨーや綿菓子、ポップコーンに焼き鳥など、甘い匂い、香ばしい匂いが漂い、まつり気分を盛り上げていました。

また、リサイクルの活動にも繋がるフリーマーケットには様々な店が出店し、子供も大人も真剣な表情で商品を選んでいました。

■ピクニックコンサート

緑に囲まれた会場で行われた青空コンサート。小さな子供達もリラックスした様子で思い思いに演奏を楽しんでいました。

♪演奏は…

- オカリナグループ ベラ の皆さん
 - サクソ演奏 渡部昭彦さん
 - ボーカル&ギター ゆ〜すけさん
 - カラオケ リバーサイド滝新クラブの皆さん
- でした。ありがとうございました!



環境展示

森のかがく活動センター1階・2階ではエコフットパス(P.2~P.3参照)の紹介パネルの展示や、映像の上映が行われました。



〈森のまつり実行委員会〉

- ・森の環^わ
- ・空知町1区町内会
- ・たきかわ環境フォーラム

* 実行委員会の皆さん、お疲れさまでした!

地球にやさしくしたい!コラム

皆さん、「ウォームビズ」って、ご存知ですか?職場の温度設定を20℃にして、地球温暖化の原因となるCO2の削減を図ろうという活動ですよ。暖房を使う期間が長い日本では、夏の「クールビズ」より、かなりの効果が期待できるのです。我家で20℃設定は、かなりキツイ!でも、北海道に住むわたしたち。思えば暖房をガンガン焚いて、冬の室内温度をかなり高めに設定していることも…。まずは、いつもより1~2℃室温を下げて衣食住の工夫をしてみても?高騰している灯油代も浮いて地球にもやさしい、一石二鳥になるかも?しれませんね!!

*あったか
ヒント*

*冬でも暖かく過す秘訣は、「三つの首」を冷さないこと。「三つの首」とは「首」「手首」「足首」で

*ホットココアを飲みましょう。飲んだ時は勿論、その後も血液をさらさらにし、血流を良くする成分が入っているので冷え性を改善する効果が期待できるそうです。

たきかわ環境フォーラム情報誌

えこあっぷ! 第10号 2005年11月30日発行

発行 たきかわ環境フォーラム

編集 たきかわ環境フォーラム・えこあっぷ!編集委員会

深町亜紀/平田剛士

郵便番号 073-0021 北海道滝川市本町2-6-28 越後弘方

たきかわ環境フォーラム事務局 TEL0125-24-2447

ウェブサイト

<http://homepage1.nifty.com/hiratatuyosi/takikawaEnvironmentForum/index.html>

フォーラム会員
募集中!